



令和6年度 第2回 応用動物科学セミナー

オンラインで実施

ーレギュラトリーサイエンス研究の新機軸ー 医薬品開発の迅速化・高度化を見据えた “新規”生殖毒性評価法の開発研究

横田 理 先生

国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター毒性部
第二室 室長・厚生労働技官

使用言語・Language : 日本語・Japanese

精子は次世代の遺伝情報を担うため、医薬品候補化合物等により生じる生殖毒性は、発生毒性の引き金となり得る。本発表では、動物実験の3Rsを考慮した、「次世代型」生殖毒性評価法の開発研究の一端について紹介する。併せて、関連するICHガイドラインにおける現状と課題を整理し、本研究の位置づけについても整理したい。

● 2024年6月14日(金) 16:00 ~

Zoomで開催

要 事前登録



QRコードのリンク先で登録してください。登録完了と共に受付完了のメールが送付されます。ZoomのURLとPWは開催1週間前に通知されます。

- 本セミナーは東京大学 AMED iD3キャタリストユニット主催の第18回 Top Runners in TRS として開催され、本専攻の学生にも公開されるものです。動物科学のフロンティア(修士課程)/動物科学フロンティア(博士課程)の講義1回分としても認定されるので、履修者は、セミナーの内容についてレポートを作成の上(様式は自由)、セミナー終了後2週間以内にUTOL経由で提出してください。



- 問い合わせ先:
獣医学専攻 実験動物学研究室 角田 茂 准教授
☎ 03-5841-5037
✉ a-skakuta@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

Downloaded from unece.org